

作成の留意点

自立活動 目標・内容設定シート

学年・在籍学級	氏名
障害名等	※以下の 1 から 7 の順に作成してください。

1 収集した情報(障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等について情報収集)

1

- 担任が情報を収集し、事実を記入する。
  - ・本人の「できること」、「もう少ししてできること」、「援助があればできること」、「できないこと」など、過去の指導や保護者からの情報等も参考に記入する。
- <将来期待する姿>の欄
  - ・本人の願いを考慮し、今の時点で担任が本人に期待する姿を記入する。
  - ・指導に系統性をもたせるために、数年後の学びの場や生活の場を想定しながら、「どのような力」を「どこまで」育むことができるのかを考えて記入する。

- 「収集した情報」を複数の人で確認し、①～②を行う。(別紙記入例参照)
  - ①本人の課題や困難さに当たる部分に下線を、本人の強みやリソースになる部分に二重下線を引く。
  - ②下線を引いた部分が、自立活動の6区分のどれに当たるか検討し、書き込む。例:～。(人)

<将来期待する姿>

2

整理した課題

- 「整理した課題」を複数の人で相談して考える。
  - ①「収集した情報」から、困難さやつまずきの要因を考えて、付箋に書く。
  - ②書き出した要因を話し合い、グルーピングする。
  - ③グループにタイトルを付ける。
  - ④タイトルを「整理した課題」に書き入れる。

- 「整理した課題」の中から、今、指導すべき内容は「指導すべき目標」に、その他を「必要な配慮」に分ける。

3

3 指導すべき目標

4 必要な配慮

4

- 本人への指導により改善が期待できるものを「指導すべき目標」として設定する。
  - <目標設定のポイント>
  - 適時性:今、指導することが適切な時期か
  - 必要性:現在の生活だけでなく、将来の生活も見通して、今、必要なことか
  - 実現性:予定の指導期間内で達成できるか

5

- 配慮したり環境調整したりすることで改善期待できるものは「必要な配慮」と考えて設定する。

5 項目の選定

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<input type="checkbox"/> 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	<input type="checkbox"/> 情緒の安定に関すること。	<input type="checkbox"/> 他者とのかかわりの基礎に関すること。	<input type="checkbox"/> 保有する感覚の活用に関すること。	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
<input type="checkbox"/> 病気の状態の理解と生活管理に関すること。	<input type="checkbox"/> 状況の理解と変化への対応に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解に関すること。	<input type="checkbox"/> 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。	<input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関すること。	<input type="checkbox"/> 言語の受容と表出に関すること。
<input type="checkbox"/> 身体各部の状態の理解と養護に関すること。	<input type="checkbox"/> 障害による学習や生活への影響の理解と行動の調整	<input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解に関すること。	<input type="checkbox"/> 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本動作に関すること。	<input type="checkbox"/> 言語の形成と活用に関すること。
<input type="checkbox"/> 障害の特性や生活環境に関すること。	○指導目標を達成するために必要な項目の選定をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に、具体的な指導内容を考える際の中核となる項目を選び、次にそれに関連しそうな他の項目も併せて選ぶ。</li> <li>・選んだものにチェックを付ける(□→☑)。</li> </ul>			コミュニケーション手段の活用に関すること。	
<input type="checkbox"/> 健康状態に関すること。				なる概念の形成に関すること。	な遂行に関すること。

6

7

- 指導内容を考える際に次の点を考慮して設定する。
  - ア 主体的に取り組める
  - イ 改善・克服の意欲を喚起する
  - ウ 発達の進んでいる側面を更に伸ばす
  - エ 自ら環境と関わり合う(幼稚部のみ)
  - オ 自ら環境を整える(小・中学部)
  - カ 自己決定・自己選択を促す
  - キ 自立活動を学ぶことの意義について考えさせるような指導内容

※上記のア～キの詳細については、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)P111～118参照

6 具体的な指導内容